

階層	呼称	対応職位	役割	求められる能力	業務		研修				資格
					定型業務	非定型業務	マネジメント	ヒューマン	専門		
管理職層	経営管理職	施設長 施設次長	・施設の基幹事業、中枢機能の統括責任者として意思決定を行い、施設全体及び担当部署の中長期的な業務と成長性を確保する。	・施設のサービスを客観的に捕らえ組織運営を調整し自組織を改善、向上させることができる。	・組織の経営資源把握と調整	・地域・他組織との連携 ・方針の明確化 ・方針、具体的施策の最終決定 ・計数管理 ・施設計画の進捗管理	(上級業務管理職に加え) ・戦略策定 ・方針設定 ・虐待防止	・接遇	・介護技術(指導)	・褥瘡 ・食中毒 ・感染症 ・リスクマネジメント	・メンタルヘルスマネジメント
	上級業務管理職	部長	・施設の方針と担当部署の任務に照らして最適な組織目標を設定・実行し、その業績達成に必要な制度環境を整備し、期間業績を達成する。	・担当部署の統括責任者として組織運営を調整し自組織を改善、向上させることができる。	・担当部署の管理、調整 ・施設全体の経営状況の把握	・地域・他組織との連携 ・計数管理 ・人を育てる管理職の指導、育成 ・業務改善 ・リスクマネジメント	(初級業務管理職に加え) ・業界動向 ・部下指導育成 ・虐待防止				
	初級業務管理職	課長	・担当部署の運営、管理、責任を負う。 ・担当部署の業績目標を理解し達成する。	・教育指導者として教育プログラムを作成実施できる。 ・短期(1年)計画を立て担当部署のサービスを計画的に向上させることができる。 ・目標を設定し、部下の規範となって成果を実現できる。 ・施設全体の運営、経営環境を理解した上で担当部署の運営管理ができる。	・担当部署の管理、調整 ・施設全体の経営状況の把握	・外部社会資源の発掘と活用 ・計数管理 ・部下への指示 ・指導職、担当職の指導、育成 ・業務改善 ・リスクマネジメント	・計数管理 ・理念の浸透化 ・虐待防止 ・部下指導育成 ・認知症介護指導者養成研修				
指導職層	指導職	係長	・自分の担当部署に責任を持ち、顧客の期待に答え業績に貢献できる成果を出す。 ・部下を育成指導する。	・広い視野で課題発見が出来業務改善を実現できる。 ・最新の高度な技術と知識を習得し部下を指導できる。	(担当職業務に加え) ・担当部署の経営状況、業務内容の把握 ・他部署との連携調整 ・労務管理 ・(内部)申請書作成 ・部署のサービス管理 ・委員会の運営管理	(担当職業務に加え) ・苦情への対応 ・部下の指導育成 ・チームワーク作り ・サービス向上の為の課題発見と業務改善	・部下指導育成 ・リーダーの役割責任 ・タイムマネジメント ・計数管理 ・目標、計画 ・サービス管理 ・業務改善 ・虐待防止	・報連相 ・接遇	・介護技術(指導) ・認知症	・メンタルヘルスマネジメント	
	担当職	主任	・業務遂行及び改善の為に上司、部下、後輩と連携する。 ・部下、後輩を育成する。	・組織の方針、計画に基づき上司、部下、後輩と協力し行動できる。 ・職員の育成指導ができる。 ・常に新しい知識の習得に努めている。 ・適切な報、連、相ができる。 ・部下、後輩の模範となる接遇ができる。	(上級一般職業務に加え) ・家族対応 ・1日のサービス管理	(上級一般職業務に加え) ・部下、後輩への指示、指導 ・リスクマネジメント ・業務を改善するための提案 ・研究発表	・部下指導育成 ・計数管理 ・認知症介護実践リーダー研修				
一般職層	上級一般職	2年目以上	・定型業務を確実に進行する。 ・後輩を育成する。	・定型業務を確実に遂行できる。 ・後輩の育成指導ができる。 ・基本的な介護技術を習得し安全、安楽なケアができる。 ・他者と協力しながらチームケアができる。	(初級一般職業務に加え) ・個々に応じたサービス提供 ・委員会参加	・初級一般職への助言 ・係り、行事の担当 ・仲間との協力、連携 ・ケアプランの作成	・後輩指導育成 …3年目 ・虐待防止 ・実務者研修 ・認知症介護実践者研修	・コミュニケーション ・接遇	・介護技術(指導)…3年目 ・介護技術 ・認知症 ・介護福祉士国家試験(満3年)	ストレスケア	
	初級一般職	1年目	・定型業務を上司の指示を得ながら進行する。	・基本的介護技術を習得する。 ・人権を守ることが出来る。 ・報連相の必要性を理解している。 ・社会人としてのマナー、ルールを習得し実行できる。	・利用者の日常生活援助 ・基本介護(夜勤含む) ・環境整備 ・整理整頓 ・報告、連絡、相談 ・観察、記録	・虐待防止	・報連相 ・接遇				・褥瘡 ・食中毒 ・感染症 ・リスクマネジメント ・尊厳と自立支援 ・喀痰吸引と経管栄養の研修